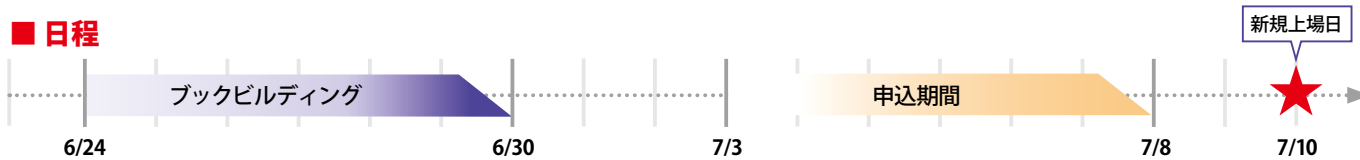


IPO銘柄 鳥貴族 (3193・JASDAQ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件（上限 PER）	主幹事証券
3193	100 株	公募：30.0 万株 売出：16.0 万株（OA6.9 万株）	2,590 円～ 2,800 円 (9.0 倍)	大和証券



均一価格の焼き鳥チェーン店「鳥貴族」を運営

■ 事業内容

関西地区を地盤に280円（税抜）均一の焼き鳥店「鳥貴族」を展開する。14年4月末時点の店舗数は353店舗で、直営店はうち184店舗。エリア別では関西圏198店舗、首都圏134店舗、東海圏21店舗。セントラルキッチンを保有せず、各店舗で串打ちを行う。一方、全店で変わらない味を実現するためにタレは自社工場で一括生産。1985年5月に1号店を出店し、翌86年9月に法人化。95年には居酒屋業態から撤退し、「鳥貴族」の運営に集中する経営体制に入った。飲食事業の単一業態。

■ 特徴

国産鶏肉を使用した一串約90グラムの焼き鳥「貴族焼」が看板メニューで、注文を受けてから焼き上げる釜飯、プレミアムビールなどの商品を280円で提供。店舗運営はメニュー数を60に絞り込むことで業務オペレーションの効率化、スケールメリットを生かした食材原価の低減を図っている。なお、メニューは半期に一度、10品目程度の入れ替えを行う。

アナリストコメント

■ 定量分析

14年7月期の非連結経常利益は前期比59.7%増の7億8,600万円を計画する。積極的な新規出店に支えられた高成長を続けており、長期的な目標として全国2,000店舗の達成を掲げている。13年7月期は41の新規出店、14年7月期は第3四半期累計（13年8月～14年4月）で27店舗を出店した。

■ 定性分析

外食企業はIPOマーケットでさほど人気化しない業種。また、国内消費の回復傾向は追い風だが、デフレ時代にはやった低価格戦略を掲げる業態であることは、やや気がかり。なお、有名タレントの親族が経営する企業としても一部で注目を集めている。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は14.8億円。ベンチャーキャピタル保有株が少なく、公開株式以外の株券は市場に流通しづらい構造となっている。需給妙味はそれほど大きくないが、既存新興市場が活況で、下値不安は乏しそうだ。
(小泉健太)

■ 類似企業

鳥貴族(3193・JASDAQ)	予想PER9.0倍 (仮条件上限)
エー・ピーカンパニー (3175・東証1部)	予想PER18.6倍
きちり (3082・東証1部)	予想PER15.0倍

■ 引受証券

大和証券、みずほ証券、三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券、野村證券、SBI 証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
12年7月期(実績)	10,848	37.3	196	▲ 21.7	63	▲ 24.6	49.9	—
13年7月期(実績)	12,864	18.6	492	2.5倍	212	3.4倍	165.1	—
14年7月期(会社予想)	14,422	12.1	786	59.7	404	90.8	310.5	10.0

※ 14 年 3 月に株式分割 (1 株→ 100 株) を実施。12 年 7 月期、13 年 7 月期の EPS は遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
12年7月期	12,853	5,754	600	75	466.9	10.4	11.3
13年7月期	12,853	6,165	812	75	632.0	13.2	30.1

※ 12 年 7 月期および 13 年 7 月期の BPS は遡及修正

大株主上位（上場前）

氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1 大倉 忠司	750,000	52.00
2 大倉忠	200,000	13.87
3 鳥貴族従業員持株会	111,300	7.72
4 中西 卓己	65,000	4.51
5 青木 繁則	50,000	3.47
6 近畿大阪2号投資事業組合	20,000	1.39
7 麒麟麦酒	20,000	1.39
8 道下 聡	15,100	1.05
9 片岡 達治	15,000	1.04
9 山下 陽	15,000	1.04
9 福井 貴康	15,000	1.04

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	大倉 忠司
専務取締役 営業本部シニアディレクター	中西 卓己
常務取締役 商品部ディレクター	青木 繁則
取締役 管理部ディレクター	道下 聡
取締役 人財部ディレクター	山下 陽
常勤監査役	原田 雅彦
監査役	石井 義人
監査役	足田 実

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO（※1）レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング（※2）が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO（Initial Public Offering）：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI 証券 金融商品取引業者
登録番号：関東財務局長（金商）第 44 号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会